

人まち結ぶ、
北九州芸術劇場の
情報誌「Q」

◎発行：(財)北九州市芸術文化振興財団

◎北九州芸術劇場

北九州市小倉北区室町1-1-11リバーウォーク北九州内

TEL.093-562-2655 FAX.093-562-2588

<http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp>

Q
vol. 36
SPRING
2012

野田地図
「THE BEE」、
待望の
ジャパンツアー。



NODA・MAP in kitakyushu

THE BEE

2006年にロンドンで初演。2007年に東京で、英語で上演されるロンドンバージョンと新演出&日本語で上演される日本バージョンが公開され、一大センセーションを巻き起こした。筒井康隆の小説「蜚りあい」を題材に、平凡なサラリーマンが妻子を人質に取られたことで、自らも犯人の妻と子の人質にとって応酬する心理戦を繰り広げるという物語。日常と非日常の危うい境界線、平凡な人間が隠し持つ怒りと憎悪、恐怖にさえも適応してしまう人間の強靱さ…。今もっとも見逃せないテーマが散りばめられている。2012年版では、1月よりワールドツアーを敢行。各地で絶賛され、NYタイムズ、タイムアウトロンドンなど、海外の主要メディアで賞賛の評を得た。日本版は4月から6月ジャパンツアー全国5カ所で開催。

演劇賞を総なめにした「THE BEE」が北九州に!

1992年、ひとつの時代を築き疾走した「劇団夢の遊眠社」が解散した。あれから20年―初演時にその年の演劇賞を総なめにし、海外でも注目を集めた傑作「THE BEE」を引き継いで、野田秀樹が九州に再び上陸する!

再演となる今回の「THE BEE」はすでに1月から始動。英語・英国俳優十野田秀樹で演じられるワールドツアーではニューヨーク、ロンドン、香港、東京を回り、日本語・日本人キャストで上演されるジャパンツアーでは国内5カ所を巡る。原作は、筒井康隆の短編小説「蜚りあい」。9・11(アメリカ/同時多発テロ事件)を機に2003年のイラク戦争が始まった時、野田氏の頭に過ぎったのがこの小説だったという。

「最初はロンドンのあるスタジオから依頼されたワークショップの題材として取り上げたんですが、イギリスの女優たちには作品中の女性差別的な部分が大変不評で(苦笑)。じゃあ逆に女優が男役を演じたらどうなるか。男女の関係性がねじれて、非常に意図的な差別を表現できるのではないかと追求していくうちにうまく回転し始めて、カタチになっていったんです」と野田氏。恐怖心と報復の連鎖による悲劇が根底に流れるこの作品は、9・11から10年が過ぎたニューヨークでどのように受け止められたのだろうか。

英語バージョンでは、女優キャサリン・ハンターが演じたサラリーマン・イド役を、日本では野田自身が演じる。また、野田が英語バージョンで演じた殺人犯オゴロの妻役には、宮沢りえが抜擢された。「宮沢りえさんは、この初演をロンドンに観に来てとても気に入ってくれていたんです。その後、彼女は子どもを産んでいるので、今回の役柄は彼女の内側に非常に触れて、大変かつ嫌な作業になっていくでしょうね。彼女は小劇場の舞台に出演するのは初めてなので、その繊細な表情を間近で見られる点も見どころだと思います」と語る。

観終わった後に、ハチの羽音のようなざわつきがいつまでも胸に残る「THE BEE」。今春最大とも言える演劇的事件をぜひ目撃してほしい。



NODA・MAP
in kitakyushu

劇場の灯を 消してはいけない。

Hideki Noda INTERVIEW

劇場で守っているのは、
人間の「ココロ」だから。

―野田さんは、3月11日の東日本大震災のすぐ後に公演再開するにあたって異例の舞台挨拶をされましたよね。「劇場の灯を消してはいけない(※)」と。そこで語られた「劇場で守っているのは人間の「ココロ」であり、劇場の灯が消える時は人間の「ココロ」の灯が消える時だ」というメッセージにとても感銘を受けました。

野田 あの時、東京中の劇場で「やってはいけない」というムードが高まっていて、せざるを得ない状況だったんです。何が起ころうとも働く人々が居るように、我々は演劇を

である必要はないので、期間限定の契約システムにしてもいいし。そうやって、公共の劇場同士がネットワークを持つことも非常に大切なことだと思います。互いの作品を交換しあったり上演作品を回したり。するとある程度演劇に適した空間を共有しておくことも重要になってきますね。

―国内ツアーが行われるまともと市民芸術館と静岡舞台芸術センターは、北九州芸術劇場とはこれまでもネットワークを組んで公演を行ってきましたが、そういった劇場同士の交流やネットワークは本当に大切だと思います。特に地方の劇場ではできる事、取り組める幅に限界があります。複数の劇場がネットワークを

することが仕事ですから、劇場としてやれる状況であれば、やるべきではないかと思っただけなんです。

―我々劇場としてもその姿勢が問われていると感じています。しかも野田さんは役者であり演出家であり、今は東京芸術劇場の芸術監督でもあります。劇場が果たす役割というものをどのようにお考えですか？

劇場の強みは、
「場所がある」という点。

野田 昨年、ヨーロッパを中心に7カ国ほど回って、芸術監督の方と会うたり劇場のシステムを見て回ったりしたんですが海外に行く

組むことで可能性が広がっていきますね。

野田 さらに話を進めると、日本国内一つで演劇の環境を良くしようとしても難しい。そうなるといかに海外を巻き込むかが鍵を握るんですが、地理的にヨーロッパやアメリカは遠い。となると少なくともアジアと連携を深めることは不可欠ですね。今、ソウルでは非常にいいフェスティバルをやっていますよね。あれは韓国の中の若い演劇人たちの無形の財産になっているはず。若い時に質の高い舞台に触れる機会があるというのは、大切なことですね。

と理想とする劇場やあるべき劇場の姿が見えてきますね。そこで日本に帰ってくると、やはりまた機能していない現状が見えてくる。そこにはさまざまな理由が混在しているので、すべてを自分の残った人生でやり遂げるのはちょっと難しいかもしれませんが…。

一つは、公立劇場が作品のレパートリーを持つことで、正常な劇場として機能するのではないかと感じています。海外で特にいいと思うのが、ルー・マニアで毎年国際演劇祭をやっているシビウという街のラッド・スタンカ国立劇場。そこは芸術監督の方がとても得意気に「うち

1年間のロンドン留学から帰国後、
新たに設立した「野田地図(NODA・MAP)」は、
公演ごとに俳優を集めて上演する
プロデューススタイルの先駆けとなった。
常に演劇界の一步先を見据え、
多くの演劇人のオマージュを集めてやまない野田秀樹氏。
現在は、多摩美術大学造形表現学部映像演劇学科教授と、
東京芸術劇場の初代芸術監督という横顔も持つ

野田氏にお話を伺った。

北九州で生まれ育った人が
今回の舞台をどう観るのか、
楽しみにしています。

―そういう意味でも今回の「THE BEE」は多くの人の達の刺激になってくれると思います。

野田 ありがとうございます。ただ、お芝居を観ると何かしらいい気持ちで帰れるんじゃないか、と信じている人にとっては夢も希望もないかも。遊眠社の時のようなカタルシスや喜びを期待している人にとっても、今回ののはちょっと「ごめんなさい」かも(笑)。「THE BEE」は、そもそも

てたんです。これはすごいことですよ。もう一つ、芸術監督になって改めて思ったのが、劇場が持っている強みは「場所がある」という点。劇団中心主義だった過去の演劇界からプロデューススタイルが主流になった今、劇場が果たす役割があるとすれば「劇場は場所を持っている」というこの絶対的な強みから出発することが重要だと思います。場所があるから、レパートリーを持つ。もっと言えば、場所があるから劇団を持つ、とか。

―劇場がレジデント劇団を擁する、ということですね。

野田 そういう劇団であれば、固定メンバー

野田 秀樹 ● のだ・ひでき

1955年、長崎県生まれ。劇作家・演出家・役者。東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授。東京大学在学中に劇団夢の遊眠社を結成し、数々の名作を生み出す。92年、夢の遊眠社解散後、ロンドンに留学。帰国後の93年に企画製作会社NODA・MAPを設立。以後も『キル』『パンドラの鐘』『オイル』『赤鬼』『THE BEE』『THE DIVER』『バイパー』『ザ・キャラクター』『南へ』など次々と話題作を発表。中村勘三郎と組んで歌舞伎『野田版 研辰の討たれ』『野田版 鼠小僧』『野田版 愛宕姫』の脚本・演出も手掛ける。演劇界の旗手として国内外を問わず、精力的な活動を展開。2009年10月、名誉大英勲章OBE受勲。2009年度朝日賞受賞。2011年6月、紫綬褒章受章。2012年1月～6月、「THE BEE」WORLD & JAPAN TOUR公演予定。



撮影：吉井秀喜 RAD STUFF

も「イギリスで観せる」という視点で創っていて、ある意味「お構いなし」な作品になっているんです。そこをイギリスでも東京でもなく、北九州という土地と文化の中で生まれ育ってきた人たちが、一体どういう風に観るのか。

―最後に1991年の夢の遊眠社福岡公演以来、野田さんの作品に出会えるということを楽しみにしている多くのファンに「言…」。

野田 お客さんに「楽しみにしてください」というよりも、私の方が楽しみです、期待しています。

※1…「この大震災の事態に上演続行を決定した理由」として発表。挨拶の全文はHP上に公開されている。http://www.nodamap.com/site/news/2011/03/206

STAGE PREVIEW

北九州芸術劇場
KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

彩の国シェイクスピア・シリーズ第25弾 シンベリン



大ホール	4/27	4/28	4/29
12:30			×
18:00	●	×	

※前売終了

- 演出 蛭川幸雄
- 作 W.シェイクスピア
- 出演 阿部寛、大竹しのぶ、窪塚洋介、勝村政信、浦井健治、遼川哲朗、吉田鋼太郎、鳳蘭 ほか
- S席¥9500、A席¥6500、B席¥4000
- ※購入枚数制限あり／お1人様1公演につき4枚まで

1998年のスタート以来、蛭川幸雄の演出／監修で世に多くの話題作を提供してきた彩の国シェイクスピア・シリーズの最新作「シンベリン」。登場人物が家族の離散や再会、遭難など幾多の試練を乗り越え、波乱万丈の末に幸せな大団円を迎えるという真正にロマンス劇の真骨頂を、息をもつかせぬ展開でお届けします。

◎好評発売中

サンプル「自慢の息子」



サンプル「自慢の息子」©アトリエ・ベリゴウ(撮影:青木司)

- 2010年北九州芸術劇場プロデュース「ハコブネ」で作・演出を務めた松井周が主宰する劇団サンプル。その作品世界は、価値を反転させることと空間・身体・時間の可能性を探り続けることを特徴とし、虚無的で独特の質感が人気を博しています。第55回岸田國士戯曲賞受賞作、待望の再演にご期待ください。
- 作・演出 松井周
 - 出演 古館寛治(青年団・サンプル)、古屋隆太(青年団・サンプル)、奥田洋平(青年団・サンプル)、野津あおい(サンプル)、兵藤公美(青年団)、羽場睦子
 - 一般¥3000(当日¥3300)
 - 学生¥2500(劇場・サンプルのみ取扱／要学生証提示／当前共通)
 - ※日時指定・全席自由・整理番号付

◎好評発売中

ピーター・ブルックの魔笛 ドイツ語(歌)・フランス語(台詞)上演(日本語字幕付)



2010年初演時の舞台より
©Pascal Victor/ArtComArt

中劇場	3/31	4/1
15:00	×	×

※前売終了

- 演出 ピーター・ブルック
- 音楽 ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト
- 一般¥6000、ユース¥3000(24歳以下・要身分証提示・枚数限定)

演劇史に名を残す偉大な演出家ピーター・ブルック。現在24ヶ国を巡演中の巨匠ブルックの最新作「魔笛」は、2010年パリで初演され、フランス最高の演劇賞モリエール賞の最優秀作品賞(ミュージカル部門)を受賞。モーツァルト最晩年の傑作オペラを、1台のピアノ、7人の歌手、2人の俳優によって新しく生まれ変わらせ、世界中の観客に衝撃を与えたブルックの魔術的舞台をお見逃しなく！

◎前売終了 ※当日券は各回開演の1時間前より、中劇場受付で販売します。

NODA・MAP番外公演「THE BEE」



中劇場	6/7	6/8	6/9	6/10
13:00			×	×
18:00			×	
19:00	●	●		

※前売終了

- 一般¥7500
- サイドシート¥4000(25歳以下¥2000、要身分証提示・枚数限定)
- 高校生割引シート¥1000(要学生証提示・枚数限定)
- ※サイドシートは客席の都合上、舞台が見えづらい可能性があります
- ※当日共通 ※購入枚数制限あり／お1人様1公演につき3枚まで

◎好評発売中 高校生割引シート 4/8日 一般発売

まち∞人

災害復興へのテイクオフ。

東日本大震災翌日
セスナでパトロール

東日本大震災が起こった翌3月12日、津波に備えて福岡県内の海岸線をパトロールした民間のセスナ機がある。北九州空港を拠点に活動するNPO法人ANGEL WINGSの愛機だ。ANGEL WINGSは、平成18年に設立されたNPO法人。行政書士のかたわら理事長を務める藤澤健児さんは、元・海上自衛隊のヘリパイロットで、阪神・淡路大震災では人員輸送などに従事した経験も持つ。「自衛隊や消防の航空機だけでは事足りない大規模災害時に、こういう小さな飛行機を有効に活用できれば」との想いから、災害時に備えた活動をミッションの一つに掲げてきた。飛行機が、空が、好きだから。その好きなことで何か社会貢献したい、というのはごく自然な流れだったそうで、普段も県や市の防災訓練に参加したり、上空からの森林パトロールや子ども向けの航空教室などを行っている。そんな中でのあの震災である。誰もが「何をどうすればいいのか」と混乱しているさなか、ANGEL WINGSは地元の安全と安心を確保すべく飛び立った。また、岩手県の避難所からの「歯ブラシが不足している」との声を受け、3月27日には各方面から集めた歯ブラシ4700本を愛機に乗せて経由地である岡山の空港までいち早く運んだ。日頃の想いが、迅速な行動へとつながった。



撮影：吉井秀喜 RAD STUFF



被災地へ向け歯ブラシを空輸

岡山県にて

ANGEL WINGSの愛機

お茶会イベントがコミュニケーションの場に

今、私たちに
できること

もう一つ、藤澤さんらは「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（※1）」にも参画している。今回の震災では、現地の災害ボランティアセンターの運営をサポートするコーディネーター役として、岩手県の宮古市、釜石市、山田町、大槌町でのべ約60日ほど活動を続けてきた。その中で目指したのは、仮設や復興住宅など目に見えるものだけでなく、人と人との関係性も含めた地域コミュニティの再生。実はこれが非常に難しいのだ。仮設住宅の住民が互いに顔を合わせる機会が少ない所では、青空市やお茶会などイベントも企画し、住民同士のコミュニケーションが生まれるきっかけも作った。「日頃のコミュニティがうまくいっていた所は災害時にも強いんです」と藤澤さん。そういう所では、支援物資の配布も町内会や消防団が機能して素早く行き渡るし、ごく自然に助け合いや分かち合いの行為が生まれているという。「だからこそ、日頃からどういふコミュニティを作っていくか、ということが大事なんです」。地元でPTA会長を務め、地域のつながりの大切さも身をもって感じてきた藤澤さんは、岩手で活動し体感してきたことを福岡で役立てるための活動もすでに始めている。今私たちにできること。それは人と人の絆あるコミュニティづくりかもしれない。

NPO法人 ANGEL WINGS

(エンジェルウイングス)

◎北九州市小倉南区上石田4丁目12-3
(藤澤行政書士事務所内)

TEL.093-962-5750 FAX.093-962-5499

<http://www1.bbq.jp/angel-wings/>

※1…社会福祉法人中央協同募金会が母体となって運営。企業と社会福祉協議会とNPOなどが協働して、災害ボランティア活動の環境整備を目指すネットワーク組織。

STAGE PREVIEW

北九州芸術劇場
KITAKYUSHU PERFORMANCE ARTS CENTER

ハイバイ

「ボンボン お前の自意識に
小刻みに振りたくるんだ ボンボン」

前回公演「ある女」より(撮影:曳野若菜)

多くのファンを持つハイバイ。北九州芸術劇場には、2009年の『て』以来、3年ぶりの登場です。主演に荒川良々を迎え、ハイバイ初期の珠玉の名作をお届けします。

○作・演出 岩井秀人
○出演 荒川良々、安藤聖、岩井秀人、岩瀬亮、川面千晶、坂口辰平、永井若葉、平原テツ、師岡広明

◎チケット発売・料金については決定次第、劇場HPおよびtwitterでお知らせします。
*会員先行は、チケットクラブ(TEL.093-562-8435)までお問合せください。

イッセー尾形の
これからの生活2012 in 小倉

中劇場	7/29
15:00	●

*14:00開場

毎年大好評のイッセー尾形の一人芝居が今夏も登場します。前回も上演中に笑いが止まらなくなってしまうお客様続出!! 明るい話題の少ない現代だからこそ、圧倒的な支持を得ているイッセーさんの舞台から元気をもらってください。

○演出 森田雄三
○出演 イッセー尾形
●¥4000 *当前共通

◎会員先行 5/19(出) >> P.09へ ◎一般発売 5/27(日)

土田英生セレクション vol.2
「燕のいる駅」

酒井美紀

久ヶ沢徹

内田滋

千葉雅子

中劇場	6/17
14:00	●

1997年初演、その後幾多の団体によって上演を重ねてきた「燕のいる駅」。2012年、魅力・実力を兼ね備えたキャストとともに切なく愛しく生まれ変わる! 社会と人間関係の間の部分を自然な会話の中に落とし込む筆致に定評のある土田英生が、現在の情勢を踏まえて改訂、自らの演出で贈る決定版!!

○作・演出 土田英生
○出演 酒井美紀、内田滋、千葉雅子、土屋裕一(*pnish*)
尾方宣久(MONO)/中島ひろ子/久ヶ沢徹
●¥4800 *当日¥200増 *終演後、出演者によるトークイベントあり

◎会員先行 4/7(出) >> P.09へ ◎一般発売 4/15(日)

ナイロン100℃ 38th SESSION
「百年の秘密」

中劇場	6/2	6/3
13:00	●	●
18:00	●	●

青春時代に出会い、友人関係を築いた二人の女性の半生を軸に、複雑でデリケートな人間関係をシニカルに描く。二人の間の秘密、二人をとりまく秘密とは…。劇団への純書き下ろしとしては、一昨年以来となる新作!

○作・演出 ケラリーノ・サンドロヴィッチ
○出演 犬山イヌコ、峯村リエ/みのすけ、大倉孝二、松永玲子、村岡希美、長田奈麻、廣川三恵、安澤千草、藤田秀世、水野小論、猪俣三四郎、小園美奈、木乃江祐希、伊与勢我無、萩原聖人、近藤フク、田島ゆみか、山西惇
●¥5500

◎会員先行 3/31(出) >> P.09へ ◎一般発売 4/8(日)



撮影：吉井秀喜 RAD STUFF

地元・荒手二丁目西公園の夏の盆踊りを体験。

地域と人と劇場を結ぶ3年プロジェクトの演劇ワークショップ・作品創造事業「エンゲキで私イキイキ、地域イキイキ」。3年目は、およそ3カ月をかけて一つの作品を創り上げ、発表するまでを体験する集大成ともいえる企画だ。作品づくりの一步は、地域の盆踊りに講師と劇場スタッフが参加するところから始まった。講師の多田淳之介さんは、1年目から枝光北市民センターでのワークショップを担当しており、すでに枝光北エリアを第二のふるさとのように感じているという。地元の荒手二丁目西公園では昔ながらの盆踊りが今なお続いていると聞き、まずは参加してみようという流れになったそうだ。夏の蟬時雨の公園には、出店や屋台などは一切出ていない。華やかな出し物があるわけでもなく、初盆を迎える方々を祀ってあるだけ。街を巣立った子どもたちは孫を連れて帰ってきて、公園の中央に建てられたやぐらの周りを踊る。昔ながらの盆踊りの風景がそこにはあった。

夏の風景を小劇場で再現した「冬の盆」。

作品のタイトルは「冬の盆」。発表公演当日、会場内に一歩足を踏み入れると、荒手二丁目西公園での盆踊り風景が、小劇場という空間で見事に再現されていた。かつては荒手二丁目西公園と同じような地域の盆踊りに使われており、今は枝光北市民センターの夏祭りなどで使われている現役やぐらが劇場の中央に建てられ、その周りを浴衣姿のワークショップ参加者と、枝光北から特別参加してくれた「盆踊り隊」のお歴々が踊っている。「観客の皆さんも一緒にどうぞと上手に勧められて、輪の中に入って踊る人々も。若い世代の観客にとっては初めて見る光景という人も居たようだが、その盆踊りの光景を懐かしく思った世代の人も多かったであろう。中には枝光北に住む方々も居て、「ほら、あなたの得意な曲。踊ってきたら？」という声もちらほら。最初の盆踊りシーンだけでも、劇場の中に地域がしっかりと溶け込んでいた。

街並みが溶け込んだ3つの寸劇を披露。

盆踊りの後は、講師の多田さんのナビゲートで3つの寸劇へと流れる。寸劇の舞台は「観音堂」やぐら「空き家」。いずれもワークショップの時に歩いた枝光北の街で実際に見聞したものをベースに、参加者たちが想像力と創造力を駆使して創り上げたミニドラマだ。多田さんのナビゲート中には、枝光北の街並みの写真がスクリーンに映し出され、観客も一緒にその街並みを歩いているような感覚に陥る。地元の人しか知らないような場所に建つ「観音堂」では、観音さまが突然人間の姿でマイク片手に歌を歌いながら登場し、地域の問題をあっという間に解決してしまう寸劇に。盆踊りの「やぐら」が実は宇宙船だったというドラマや、実際に枝光北地域で増えている「空き家」に入った泥棒が認知症のおばあさんに孫と間違えられてしまうという物語に、会場内は終始笑い絶えなかった。その一方で観た人の中には枝光北が身近に感じられ、「あの観音堂に行ってみた」と興味をわいた人も居たようだ。



STAGE PREVIEW

北九州芸術劇場
KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER



クレープ・クレープ

対象 5歳 主催 先行 P



小劇場	7/22
11:00	●
15:00	●

○上演時間50分
○5歳未満入場不可

クラウン(道化師)の出でくるコミカルな音楽劇。2人のクラウンがクレープ屋の舞台で偶然見つけた小さな卵を割らないように一生懸命頑張る話。楽器のみならず、様々なモノから音を生み出したり、言葉ではなくパントマイムで伝える様子は、創造する楽しさも子どもたちに伝えてくれます。

ショック・トリオ/フランス

1996年プロの劇団としてフランスで設立し、言葉の無いマイムや音楽を中心とした作品を創作。俳優は皆クラウンで、彼ら自身が音楽家でもある。マイム・音楽を使うことで、世代・国を問わない創造活動を行っています。



グイグイ

対象 3歳 主催 先行 P



創造工房(稽古場)	7/21	7/22
13:00	●	●
17:00	●	●

○上演時間50分
○3歳未満入場不可

アヒルの家族に生まれたワニの物語。小さな子どものための作品で、可愛らしくユーモラスな人形劇です。主人公のワニはひよんなことからアヒルの家族に育てられます。そして自分がアヒルではなく、ワニだと知ったとき、そしてワニはアヒルを食べるのだと知ったとき、彼はどんな行動をとるべきなのでしょう。舞台を通して子どもたちに問いかけます。

Periferia Teatro/スペイン

1989年から子どものための人形劇を創作。数々の国際的な演劇フェスティバルに参加し、受賞している実力のある劇団です。劇を通して子どもたちに考える機会を提供します。



スプラウト (仮称)

対象 1歳 主催 先行 P



小劇場	7/21
11:00	●
15:00	●

○上演時間50分
○1歳未満入場不可

自然、生命の誕生と成長を言葉を使わずに表現し、鮮やかな色彩と音楽、身体パフォーマンスによって観客を幻想的な世界に誘う作品です。知覚的刺激で、子どもたちの無限の想像力に働きかけます。

サラトフユースシアター/ロシア

国立の青少年のための劇場。劇場には毎年15万人の観客が足を運び400の公演を提供しています。常に観客との対話を意識し、観客の心に訴える舞台を創作。学校、孤児院などを劇場に招待する活動も行っています。

【各公演料金】一般(18歳以上)¥2500、子ども(18歳未満)¥1000 *日時指定・自由席 ◎会員先行 5/12(土) >> P.09へ ◎一般発売 5/20(日)
【サマーセット(2演目セット券)】一般(18歳以上)¥3500、子ども(18歳未満)¥1500 今年夏休みに小さなお子様にもご覧いただきたい海外の3作品を上演します。是非この機会に、1日で2演目をご覧いただけるお得なセット券をご利用下さい。*詳細はお問合せください。 TEL.093-562-2655





多田 淳之介 ● ただ・じゅんのすけ

1976年生。演出家、東京デスロック主宰、富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督、青年団演出部。俳優の身体、観客、劇場空間に於ける現象をフォーカスした演出が特徴。古典から現代劇、パフォーマンス作品まで幅広く手がける。「演劇LOVE」を公言し、地域、教育機関でのアウトリーチ活動や、海外での公演、共同製作など国内外問わず活動を展開。近年は各地域の活動に参加する「地域密着、拠点日本」をテーマに活動中。

3年目「観せる」
2011年度

◎2年目に実施した3カ所から選ばれた1つの市民センターを拠点に、1名の講師の下、約3カ月間ワークショップを重ねて作品を創り北九州芸術劇場・小劇場で上演しました。

◎1～2年目のイキイキ経験者に3年目からの参加者も加わった22名が「冬の盆」の舞台に。観覧者の皆さんからいただいた感想には「『地域』や『家族』といった人間の原点に触れた」「出演者の佇まいが素晴らしい」といったものも。

2年目「深める」
2010年度

◎1年目に実施した市民センターから3カ所、3名の講師が選ばれ、1週間程度のワークショップとミニ成果発表会を行いました。

◎2年目から初めて参加した人や1年目から引き続いて参加した人などさまざま。幅広い年齢層の人とふれあう中での楽しさもありました。

1年目「広げる」
2009年度

◎全国公募の中から7人の講師とプログラムを採用。2日間のワークショップを北九州市内各区1カ所、計7カ所で行いました。

◎参加者は10歳から83歳まで。7割の方が演劇初体験。「自分の街を再発見できた」との声もありました。

取材文／重岡美千代

エンディングは、やはり盆踊りだった。「炭坑節」が静かに流れ出し、一人二人と参加者たちが踊りの輪に入っていく。やがて曲が21世紀的なテクノに変わり、ミラーボールが回る中で、「炭坑節」を踊り続ける参加者たち。そのうち次第に踊りの輪がとけ、参加者ひとりひとりが自由に手足を動かしてはじめる。ハイタッチで挨拶をしたり、笑顔を交わし合ったり、談笑したり。まるでばったり出会った親しい者同士が、街の路上でそうしているかのようにも見える。そんな中、参加者の古い写真や懐かしい写真がスクリーンに映し出され始めた。かわいらしい赤ちゃんの頃の写真や、寸劇で認知症のおばあさんを演じた女性の若かりし頃の写真。あるいは働き盛りの頃の写真。そこには、まさにイキイキと脈打つ人生があり、それが今日の前で笑顔で踊り続けている人々と重なり合い、不思議な感覚に包まれた。

3年にわたり、この「エンゲキで私イキイキ、地域イキイキ」を取材させていただいたが、心から感動したラストシーンだった。参加者一人一人の人生の上での「イキイキ」、地域への関心の高まりという「イキイキ」、そしてエンゲキという手法による「イキイキ」。このプロジェクトの実りが、幾層にも奇跡的に重なり合っていた。実は講師の多田さんは、今年の1月から枝光北に実際に住み、その土地の風を肌で感じながらワークショップを重ねて作品を創り上げていったという。地元の方々が布団や家財道具を貸してくださるなど、ワークショップ外での交流も充実していたそうだ。地域の方々とアーティストと劇場スタッフと。一体となって創り上げたモノの根底には、上演作品という目に見えるカタチを超える「何か」があった。それは、常日頃から「演劇LOVE」を公言する多田さんらしい、愛と誠実の礎だったように思う。



STAGE PREVIEW

北九州芸術劇場
KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

主催 先行 P

大見し一様
子でめはるの
あひだりつた
50分
Theater by Ikiyiki

子供のためのシェイクスピア
「リチャード三世」



撮影：石川純

中劇場	9/2
14:00	●

○作 ウィリアム・シェイクスピア
～小田島雄志翻訳による～
○脚本・演出 山崎清介
○出演 伊沢磨紀、佐藤誓、山口雅義、戸谷昌弘、若松力、大内めぐみ、谷畑聡、チョウ・ヨンホ、佐藤真希、山崎清介
●大人 ¥3500
子ども(中学生以下) ¥2000

机と椅子などのシンプルな舞台装置と黒コートの集団、シェイクスピア似の人形の登場や音楽代わりのクラップ(手拍子)。「子供のため」と言っても、決して手抜きをしない真剣な演技と遊び心満載の演出で、演劇を初めて観る人から評論家まで幅広い人々の支持を得ている、シェイクスピア劇の人気シリーズ。今回は、略奪、結婚、政治的陰謀など、さまざまな策略を巡らした男の成功と挫折を描いたシェイクスピアの傑作をお届けします。

◎会員先行 6/23(出) >> P.09へ ◎一般発売 7/1(日)

主催 先行 P

大見し一様
子でめはるの
あひだりつた
50分
Theater by Ikiyiki

月猫えほん音楽会2012



撮影：田中茂十

中劇場	8/2
14:00	●

○演出 吉澤耕一
○企画・構成 能祖将夫
○出演 佐山雅弘(ジャズ猫)、保亜美(白猫)、本多愛也(マイム猫)、能祖将夫(読み猫)
●大人 ¥2500
子ども(4歳以上中学生以下) ¥1500
親子 ¥3500
＊3歳以下入場不可

「月猫えほん音楽会」は、満月の夜に行われる猫たちの特別な集まり。絵本を月に映しながら、ジャズ・ピアノといっしょに遊んじゃおうというもの。“絵本”なんて小さな子どものためのもんじゃ、なーんて思っていると大まちがひ。いくつになっても絵本は楽しい。誰かに読んでもらうのはもっと楽しい。すてきな音楽が入ればもっともっと楽しい。さあ、今夜は満月。君も猫になって、「月猫えほん音楽会」へ出かけよう。

◎会員先行 5/26(出) >> P.09へ ◎一般発売 6/3(日) *公演に合わせてワークショップを開催！詳細は決定次第劇場HPでお知らせします。

主催 先行 P

大見し一様
子でめはるの
あひだりつた
50分
Theater by Ikiyiki

平成24年度 第42回北九州市ファミリー劇場
一角笛シルエット劇場
「ももたろう」「つのぶえのうた」



撮影：田中茂十

5/22(火)	戸畑市民会館・大ホール
5/23(水)	八幡市民会館・大ホール
5/24(木)～26(土)	北九州芸術劇場・大ホール
5/28(月)	若松市民会館・大ホール
5/29(火)	門司市民会館・大ホール

＊いずれも10:30開演

「北九州市ファミリー劇場」は、幼稚園・保育園世代の子どものために、北九州市主催の文化事業です。かわいらしい人形たちによって描かれる幻想的で鮮やかな影絵の世界に、子どもたちはくぎ付け！

●子ども ¥900、大人 ¥1100、親子 ¥1700 *当日各 ¥300増
＊子ども・親子の「子ども」は、3歳以上中学生以下 ＊2歳以下観覧は無料 ＊幼稚園・保育園などの団体参加あり

◎一般発売 4/20(金)

05



撮影：藤本彦



ウワサの舞台を潜入取材！ 合唱物語

「わたしの青い鳥」には、「何かが」ある?!

コーラスに参加したり、観ると「何かが変わる」とウワサの舞台、合唱物語「わたしの青い鳥」。
そこには一体、何があるのか？ 人々は何に魅了されているのか？ 答えは参加してみなくちゃ分からない！
…ということで、潜入取材してきました。

(潜入取材・文：重岡美千代)



01 歌う！表現する！ 楽しさがある！

そこにはまず「歌う」ことの楽しさがありました。ただ漠然と歌うのではなく、音と自分の声や体に集中して歌うことの楽しさ。体を楽器にするってどういうことなのか。歌える体を作るためにどんな準備体操をするのか。どこを使って声を出すのか。どんな声で表現するのか。頭で考えるのではなく、体と心で感じ取っていく。それが純粋に楽しいのです。



02 挑戦と喜び。

プロの歌唱指導を受けられるのも、このワークショップ（以下WS）の醍醐味。そのアドバイスはおもしろくて分かりやすいけれど、きめ細やかで的確。言われた通りにやってみようという挑戦する情熱と、なかなか思うようにできない悔しさと、うまく歌えたときの達成感と喜びが味わえるのです。レッスンの仕方や声の出し方、響かせ方、歌への想いの込め方などが、自分の中でどんどん変わっていきます。



03 歌って笑って！ 腹筋使います。

WS前半、お腹周りにかすかな筋肉痛が。腹筋を使ってる証拠なのか、それとも笑いすぎなのか…。おもしろいとは聞いていたけど、指揮者の樋本英一さんやソプラノ歌手の大森智子さんの教え方はホントおもしろすぎ！思わず爆笑しちゃうことも多いんです。でも、そのアドバイス通りにやってみるとうまく歌えるからさすが！笑って歌って、本番を迎える頃にはお腹周りが若干スリムになってましたよ。

04 実は深～い！ 人生というドラマ。

「わたしの青い鳥」の中にはチルチルとミチル、コーラスに参加した一人一人、観客の方々と、いろんな人生が詰まっています。それらを分かち合うことで、作品が一層深まってきます。それはWS初日の自己紹介から始まっていました。定年退職し第二の人生の青い鳥を探しに来たという人、北九州に引っ越してきたばかりの人、長年のつれあいを亡くしたと語る人…。一人一人の人生が「根底に流れているからこそ、歌詞にある『生まれるってどんなこと？生きていくってどんなこと？』というフレーズが心に響くのだと思うんです。



05 老若男女の 仲間との絆。



昨年の参加者は9～86歳の91名。そのうち半数はリピーターというから、いかにこの企画が市民に愛されているかが分かります。中には8回皆勤賞という人や「息子（参加5回）が声変わりをして、今年は一緒に男声パートを歌える」というお父さん（参加2回）も。親子で、またお孫さんと一緒に参加している人が多いのも特徴です。老若男女が同じゴールを目指して進む中で、自然と仲間意識や絆が育まれていきます。



06 スポットライトが やみつきになる?!

本番が近づいてくると、実際に立つ舞台である「中劇場」での稽古が始まります。これまで多くのアーティストが立った舞台から見る客席はまた格別。緊張感が高まってきますが、いつもと変わらない空気感をまとった大森さんと樋本さん、しっかりと丁寧に自分の仕事をやるスタッフさんの姿に「一人じゃないんだ」という安心感をもらいます。スポットライトを浴びると気分はすっかり舞台人。「これがやみつきになるのよね」という方もいらっしゃいました。



07 大きな感動がある！

本番直前まで、私たち参加者を必要以上に緊張させない気配りを感じながら、いざ舞台に。そこからはもう感動の嵐。ナレーションで語られる物語が稽古の時以上に心に染み入ります。客席インタビューの答えに頬を緩めたり、ハーモニーの美しさに鳥肌が立ったり。「生んでくれて、ありがとう」という歌詞に込められた91人の想いに触れて涙がこぼれたり。終わった後も、本当に青い鳥探しの旅をしてきたんだ、という余韻が残ります。言葉にするのは難しいけれど、そこにある「幸せ」をちょっとだけ握りしめている感覚。これは参加してみないと味わえない、と思うのです。

STAGE PREVIEW

北九州芸術劇場
KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

北九州芸術劇場プロデュース／市民参加企画

合唱物語「わたしの青い鳥2012」コーラスワークショップ 参加者（合唱出演者）募集

～ 歌声で探す青い鳥。9年目の“歌のつばさ”にあなたも参加しませんか？～

北九州芸術劇場がプロデュースする市民参加企画の一つとして始まり、今年で9回目を迎えるロングラン企画。第一線で活躍するプロの指揮者やソプラノ歌手の指導のもと、およそ1カ月半をかけて、全15回のコーラスWS&本番（公演）を市民の皆さんと一緒に創りあげていきます。合唱曲とナレーションで構成される物語は、舞台と客席が一体となって「幸せとは何か」「生きるってどういうことなのか」共感しあえると、毎年ご好評いただいています。現在、2012年度の参加者を募集中！楽譜が読めなくても、音楽の知識があまりなくても、合唱初体験の方でも大丈夫。「音とりCD」や「音とり本」など歌えるようになるためのサポート体制も充実しており、本番は楽譜を持って舞台に立つこともできるので歌詞を暗記するのが苦手な人も安心です。「幸せの青い鳥」を探す旅に、あなたも一緒に出かけませんか？

【参加資格】歌うことの好きな小学3年生以上の老若男女で
全ての日程に意欲的に参加できる方
【練習場所】北九州芸術劇場
【参加費】¥3000
＊ワークショップ初回に、受付にてお支払いください。

日程	5月				6月				7月			
	18	19	25	26	1	2	8	9	15	16	22	23
13:00～17:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18:00～21:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

■応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入し、ご本人と確認できる写真を貼付の上、郵送でお申込みください。
(応募用紙は劇場HPからダウンロードできるほか、リバーウォーク北九州5Fインフォメーションにも置いてあります。)

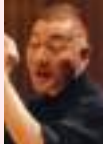
■お申込み・お問合せ

〒803-0812 北九州市小倉北区室町1-1-11
北九州芸術劇場 吉浦・黒崎 TEL.093-562-2620

参加者募集

締切:5/7(月)必着

【合唱指導】



樋本英一（ひともと・ひでかず） 指揮・合唱指導

東京芸術大学声楽科及び指揮科卒業。『歌のわかる指揮者』としてオペラ、合唱の指揮で活躍。08年自ら立ち上げた『Hi's Opera Company』で『フィガロの結婚』を指揮する。合唱では90年より07年まで東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンスを務める。アマチュア合唱団の指揮も多い。東京芸術大学、桐朋学園芸術短期大学、二期会オペラ研修所、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部各講師。



大森智子（おおもり・ともこ） ソプラノ・合唱指導

昭和音楽大学卒業、特別賞受賞。エコー・ノルマル音楽院を首席で卒業、バリ国立高等音楽院でも研鑽を積む。みずみずしい感性に透明感と温もりを併せ持つ声で、オペラや全国各地でのコンサート等で活躍。CDは『モンテヴェルディ集』『やわらかな歌』がありNHK-FMでも紹介されている。2000年文化庁芸術インターンシップ研修員。第16回日本古楽コンクール第2位（声楽で最高位）。昭和音楽大学講師。藤原歌劇団団員。

ワークショップの様子はコチラから

わたしの青い鳥2011 [ブログ](#) [ウェブ検索](#)

公演情報

北九州芸術劇場プロデュース／
市民参加企画

主催

P

合唱物語 「わたしの青い鳥2012」

中劇場	7/1
15:00	●

○原作 メーテルリンク『青い鳥』
○作曲 長生淳
○作詞 能祖将夫
○出演 合唱／ワークショップを受けた市民の皆さん
指揮／樋本英一
ソプラノ／大森智子（藤原歌劇団団員）
ピアノ／白石光隆
ナレーション／能祖将夫

●大人¥1500、子ども（3歳～中学生）¥1000
＊全席自由・当前共通 ＊2歳以下入場不可

◎一般発売 5/13(日)

無法松
酒造

若い人にも
人気の焼酎

まさに食文化と芸術文化のコラボ！
この蔵がコンサート会場になるんです！

花見にフレッシュな
生酒はいかが？

創業1877年(明治10年)。7代目の杜氏を務めるのは山家勉さん。酒造りの
“いのち”とも言える水は福智山系の井戸水で、お米は3年ほど前から地元
農家の酒米を使っているそうです。秋から冬にかけては清酒、春から夏は
焼酎、梅の時期には梅酒と、季節にあったお酒を作っているのだそう。花見
シーズンのおすすめは、3月に搾ったばかりの大吟醸や特別純米の生原
酒。フレッシュでフルーティな味わいは、お酒をたしなみ始めたばかりの人に
オススメ。さわやかで口当たりがよいので、飲みすぎないようご注意を〜。

3/24の蔵開きには
蔵でジャズコンサート♪

毎年、蔵開きには新酒を試飲したり、利き酒ブースを設けたり、周辺
農家の採れたて野菜を販売したり。今年はキャンドルライトの中での
ジャズコンサートもあり。日本酒とジャズの薫りに酔いしれてみては？

無法松酒造
小倉南区大字新道寺310番地 JR「石原町」駅から徒歩で行けます！
TEL.093-451-0002

お散歩ばんち

春といえば花見。
劇場のすぐお隣・小倉城でも春になると桜を楽しむ方々の姿をよく見かけます。
そんな風情ある日本の四季を愛でる「お花見」には、
やはり「日本酒」が欠かせないと思うのです！
と言う事で今回は「ものづくりのまち北九州」で丹精込めてお酒を作る
二つの蔵元にお邪魔してきました。

福岡県営
中央公園

花冷えの季節は、
燗酒もおすすめ。

蔵の中からは蒸し上がった酒米の清々しい香りが燗酒上酒造さんの創
業は、なんと 1844 年(弘化元年)。1931 年(昭和 6 年)に大分・
中津から北九州へ移られたそう。溝上智彦さんが 8 代目の杜氏を務
めて 16 年になるそうです。先ほどのにごりのない香りの正体は、精米
歩合 40% まで磨き上げられた山田錦。この日は、純米大吟醸「清
夜の吟」の仕込みの真っ最中でした。水は敷地内の井戸水を使用。
お米の蒸し具合がお酒の出来を左右するとのことで、職人さんたちの
真剣な眼差しが印象的でした。

蒸したてのほやほやの酒米。

麹菌をお米にかけています。

酒母。

蔵開きは毎年2月下旬。
若い人へのアプローチも。

溝上さんは「若い人にもっと日本酒の
良さを知ってもらいたい」との熱い想い
を語ってくださいました。若い人の趣向
に合わせた酒造りを心がけたり、女性
を対象にした「お酒の学校」というセミ
ナーを行ったりもしているそうです。

溝上酒造
八幡東区景勝町1-10
TEL.093-652-0289

わたしのお気に入り花見コース

北九州エリアでは唯一の県営都市公園。金比羅池の周辺は散策コースにも
なっていて、ウォーキングやジョギングを楽しむ人も。おすすめは、晴れた春の平
日お昼。青空に映える桜を眺めながら少し散歩して。お気に入りの桜の木の下
でお弁当を食べた後は、金比羅池沿いを歩いて「Cafe こんびら」まで足をの
ばします。窓越しに池と緑と桜を眺めると、何とも幸せな気持ちになるのです♪

タナダ的 三文雑記

SANMOM
ZAKKI
vol.

04

「カモン、ベイビー」

一般常識を兼ね備え日夜働いていらっしゃる方々からしたら、映画を作っている連中はたいがい胡散臭く映ることでしょう。しかし映画製作において一般の方々のご協力が必要不可欠。交渉の際、良かれと思って作った笑顔でさらに胡散臭さを増幅させていることになかば気づきながらも、我々はそれにめげずご協力を願うわけです。

先日撮影した映画で、出産シーンというものがありました。場所は助産院。ご協力いただけそうな妊婦さんがお二方（Aさん、Bさん）いらっしゃいましたが、胡散臭さを自覚している分、真摯に交渉せねばなりません。まず検診に来ていたAさんご夫妻にご挨拶に伺うと、当然先方様は緊張の面持ち。しかしご夫妻のご好意により、Aさんには、産後母子ともに落ち着いてから、赤ちゃんを計測するシーンなどを撮らせていただけることになりました。しかし一通り話が終わっても何となく固い空気だったので、それを和らげるべく私はある提案をします。

「ご主人が出産に立ち会ってホームビデオが撮れないなら、回しましょうか？」半分社交辞令のつもりでした。さすがに赤の他人に出産ビデオなんて頼まないだろうと思っていたのです。

ある日の撮影現場にて。

ところが。出産当日「じゃあ、お願いします」とごくナチュラルにホームビデオを手渡されます。自ら言い出したとはいえず、人生初の出産立ち会い。ご主人とともに助産師の先生に呼ばれ、映画スタッフより一足先に慌てて部屋に入った私はにわかに焦りました。テープは足りるだろうか。バッテリーは大丈夫だろうか……。しかしそんな杞憂を高らかに笑うかのごとく、なんと8分後に赤ちゃん誕生。テープもバッテリー残量もこの調子ならあと7人くらい行けそうな残り具合で、もっちり母子ともに健康でした。

ご協力して下さったAさんご一家に感謝しつつ、次回はBさんの模様をお伝えします。それではまた。

タナダ ユキ (映画監督)

’75 北九州市出身。主な監督作品に『タカダワタル的』(04)『月とチェリー』(04)『赤い文化住宅の初子』(原作:松田洋子／07)『百万円と舌虫女』(08)『俺たちに明日はないッス』(原作:さそうあきら、脚本:向井康介／08)等。脚本作品に『さくらん』(監督:澁川実花／07)。小説に『ロマンスドール』(09)他。北九州を舞台にした新作小説を執筆中。また、WOWOWドラマW 向田邦子『イノセント』より『隣の女』を演出。3/24 オンエア。2012 年秋には監督作『ふがいない僕は空を見た』(原作:窪美澄、脚本:向井康介)が公開予定。

Q program CALENDAR 456

北九州芸術劇場 KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

4 APRIL

1日 大ホール	福岡県立門司学園中学校高等学校 第4回定期演奏会 福岡県立門司学園中学校 093-481-4689 (中学校) 高等学校吹奏楽部 093-321-1750 (高等学校) 18:00開演 全席自由 無料
1日 中劇場	「ピーター・ブルックの魔笛」 ドイツ語(歌)・フランス語(台詞)上演(日本語字幕付) 15:00開演 全席指定 一般¥6000 ユース¥3000(24歳以下・要身分証提示・枚数限定・劇場のみ取扱) ※当日各¥500増 ※未就学児入場不可 【前売予定枚数終了】 ※当日券は開演の1時間前より中劇場受付で販売します。
5日 小劇場	チャリティー ジョイントコンサート 藤原望 後援会 090-7298-8420 19:00開演 全席自由 ¥1000
6日 小劇場	柳亭燕路の落語会 北九州子ども劇場小倉南ブロック 093-961-9176 / 093-961-7345 (辻) 19:00開演 全席自由 ¥2000 ※当日¥500増
7日 小劇場	ジョイントコンサート 大木麻倫子 093-581-1546 15:00開演 全席自由 ¥1000
8日 大ホール	北九州交響楽団 第107回定期演奏会 北九州交響楽団事務局 093-533-3456 15:00開演(14:20開場) 全席自由 一般¥1300、学生(小〜大学生)¥800 ※当日各¥200増
9日 小劇場	小山実稚恵ブレトーク「音の旅」をピアノと共に語る 音風の会(おんぷのかい) 080-3972-3789 15:00開演 全席自由 ¥3000 ※未就学児入場不可
11日 小劇場	環境と日本歌曲 環境創造テクノサロン 090-9658-0724 14:00開演 ¥2000 ※当日¥1000増
13日 中劇場	再興第96回院展<美術講演会>「院展の作品について」 北九州州市立美術館分館 093-562-3215 11:00開演(10:45開場) 全席自由 無料
14日 大ホール	劇団カッパ座公演「ピノキオ」 小倉カッパ座の会 070-6801-8222 13:30開演 全席自由 一般¥1500 子ども(3歳〜小学生/膝上観覧の場合は無料)¥1000 ※当日各¥500増
14・15日 小劇場	サンプル「自慢の息子」 14日18:00開演、15日14:00開演 ※14日松井間によるボストン・パフォーマンスあり。 日時指定・全席自由・整理番号付 一般¥3000(当日¥3300) 学生¥2500(劇場・サンプルのみ取扱/要学生証提示) ※未就学児入場不可 ※開演は開演の20分前
21日 中劇場	北九州子ども劇場 4月高学年部 舞台観賞会 京楽座「ピアノのはなし」 北九州子ども劇場 093-884-3834 18:30開演 [当日指定] 会費 ※子ども劇場会員でない方はお問い合わせください。*未就学児入場不可
21日 小劇場	ギターの集い 2012 (株)ヤマハミュージック九州小倉店GALLOP 093-531-4344 15:00開演 全席自由 ¥800
22日 大ホール	第50回北九州芸術祭 バレエフェスティバル 北九州バレエ協会 093-381-6569 14:00開演 全席自由 ¥11500
22日 小劇場	リトミックとピアノ発表会 ふうた音楽教室 093-453-1114 13:30開演 全席自由 無料

(凡例) (劇場) 北九州芸術劇場 093-562-2655 (音楽) 北九州芸術文化振興財団 音楽事業課 093-663-6661

27・29日 大ホール	彩の国シェイクスピア・シリーズ第25弾「シンペリン」 27日・28日18:00開演、29日12:30開演 全席指定 S席¥9500、A席¥6500、B席¥4000 ※購入枚数制限あり/お1人様1公演につき4枚まで ※当日各¥500増 ※未就学児入場不可 [28日・29日は前売予定枚数終了]
28日 小劇場	SSP松尾美香スペイン舞踊教室発表会 SSP松尾美香スペイン舞踊教室 090-1702-2798 (松尾美香) 18:00開演 全席自由 一般¥2500(当日¥3000) 子ども(小学生以下)¥1000 ※未就学児で席を使用しない場合は無料
30日 小劇場	風かおる&ヌーベル・エトワール ライブ ヌーベル・エトワール北九州(風かおるのシャンソン教室) 090-5266-4823 (島) 15:00開演 全席自由 ¥3000 ※当日¥500増 ※未就学児入場不可
5 MAY	
3日 大ホール	北九州小倉少年少女合唱団 創立35周年記念「第45回定期演奏会」 北九州小倉少年少女合唱団 093-962-3126 (神理幼稚園・高山) 090-3463-5368 (高山) 15:00開演(14:20開場) 全席自由 ¥1000
5日 大ホール	めぐみバレエアート19周年記念発表会 「くるみ割り人形」より「クララの夢」「パキータ」他 めぐみバレエアート 093-551-6780 14:00開演 全席自由 ¥3000
7日 大ホール	平成24年度 小倉北区・南区合同戦没者追悼式 北九州小倉北区役所総務企画課広報広聴係 093-582-3339 (小畑) 13:30開演(12:00開場) 全席自由 無料
11日 小劇場	月本真愛 ヴァイオリンコンサート フォーレストホールコンサート企画 090-8847-7886 18:30開演 全席自由 一般¥1000、学生(15歳以下)・子ども¥500
12・19日 中劇場	北九州市民劇場5月例会 幹の会+トリック「女王メディア」 北九州市民劇場 093-541-0075 12日・13日13:30開演、14日18:30開演、15日13:30開演 16日12:00開演、17日18:30開演、18日19日13:30開演 会費 ※市民劇場会員でない方はお問い合わせください。
13日 大ホール	日本舞踊 智賀流 二代目家元継承の会 日本舞踊智賀流本部事務局 093-645-5870 10:30開演 一部指定 S席¥7000、A席¥5000、自由席¥3000
13日 小劇場	高橋貴子ピアノコンサートvol.3 高橋貴子ピアノコンサート実行委員会 080-5244-4712 14:00開演 全席自由 ¥3000(当日券未定)
19・20日 大ホール	九州ハワイアン協会 フラダンスフェスティバル 九州ハワイアン協会 096-359-3738 両日11:00開演 全席自由 一般¥1500(当日¥1700)、子ども(中学生以下)¥500
20日 中劇場	北九州子ども劇場5月低学年部舞台鑑賞会 人形劇団ブーク「三びきのやぎのがらがらどん」 北九州子ども劇場 093-884-3834 14:30開演・18:00開演 全席当日指定 ※子ども劇場会員でない方はお問い合わせください。
22日 大ホール	坂本真理ピアノリサイタル 西部沢井薬品株式会社内 坂本真理後援会 093-964-1834 (佐藤) 19:00開演 全席自由 ¥2500
24・26日 大ホール	平成24年度 第42回北九州ファミリー劇場 一角笛シルエット劇場 「ももたろう」「つのがぶえのうた」 全日10:30開演 全席指定 子ども¥900、大人¥1100、親子¥1700 ※当日各¥300増 ※子ども・親子の「子ども」は3歳以上中学生以下 ※2歳以下膝上観覧無料 ※幼稚園・保育園などの団体参加あり
26・27日 中劇場	第50回北九州芸術祭「平成神様会議」 劇団青春座 093-922-4995 (井生) 26日18:30開演、27日13:30開演 全席自由 一般¥3000、学生(大学生以下)¥2000 ※当日各¥500増 ※親子室あり(要予約、2組、無料)
30日 小劇場	上野香織 Jazz Concert 2012 実行委員会事務局 080-3907-1202 19:00開演 全席自由 ¥4000 ※当日¥500増
31日 小劇場	レディスやはた朗読発表会 レディスやはた朗読の会 093-652-0640 14:00開演 全席自由 無料 ※未就学児入場不可

●表示された料金はすべて、前売の価格です。特に表記のない公演は、開場時間は開演時間の30分前、また当日・前売共通料金です。
●掲載情報は北九州芸術劇場・響ホールで予定されている催しの一部です。3/9金現在の情報であり、催事名・公演時間・料金等変更になる場合がございます。詳細については事前に、Qマークの後に記載された各主催者までお問合せください。

6 JUNE	
12日 大ホール	「TAO 2012 HIMIKO ようこそ、最先端の二千年前へ。」 株式会社タオ・エンターテインメント 092-721-2015 (荒田) 1日19:00開演、2日17:30開演 全席指定 SS席¥7000、S席¥6000、A席¥5000 ※6歳未満入場不可
23日 中劇場	ナイロン100℃ 38th SESSION「百年の秘密」 全席指定 一般¥7500 2日13:00開演・18:00開演、3日13:00開演 全席指定 ¥5500 ※当日¥500増 ※未就学児入場不可
7・10日 中劇場	NODA・MAP 番外公演「THE BEE」 7日・8日19:00開演、9日13:00開演・18:00開演、10日13:00開演 全席指定 一般¥7500 サイドシート¥4000(25歳以下¥2000、要身分証提示・枚数限定) 高校生割引シート¥1000(要学生証提示・枚数限定) ※サイドシート・高校生割引シート共に劇場のみ取扱 ※サイドシートは客席の都合上、舞台が見えづらい可能性があります ※購入枚数制限あり/お1人様1公演につき3枚まで ※未就学児入場不可 [9日・10日は前売予定枚数終了]
14日 大ホール	ふれあいコンサートin北九州 自衛隊福岡地方協力本部 092-584-1881 19:00開演(18:00開場) 全席自由 無料
16日 大ホール	第12回北九州民謡民舞音楽祭 民謡俊潮会 093-592-7386 11:00開演 全席自由 ¥1000
17日 中劇場	土田英生セレクションvol.2「燕のいる駅」 14:00開演 ※終演後、出演者によるトークイベントあり 全席指定 ¥4800 ※当日¥200増 ※未就学児入場不可
23・24日 小劇場	第36回 ビティナ・ピアノコンペティション 北九州地区予選 (株)ヤマハミュージック九州小倉店 093-531-4342 (河嶋) 両日11:30開演 全席自由 無料
24日 大ホール	北九州歌謡グランドフェスティバル 水森英夫審査大会 北九州歌謡研究会 093-921-4652 10:15開演(10:00開場) 全席自由 ¥1000

響ホール HIBIKI HALL

4 APRIL

1日 中劇場	第8回 貞国音楽院の若い演奏家たちによる ジョイントコンサート 貞国音楽院 093-202-7439 (貞国) 14:30開演 全席自由 ¥1000 ※未就学児入場不可
7・8日 中劇場	第50回(2012年度) 北九州芸術祭 クラシックコンサート 北九州音楽文化連盟 093-861-3373 両日10:30開演 全席自由 ¥1000
15日 中劇場	第37回北九州新人演奏会 北九州音楽協会 090-5296-4688 (山廣) 14:00開演 全席自由 ¥1000
21日 中劇場	ソロとアンサンブルのひととき 木曜会 093-692-2155 (小宮) 14:00開演 全席自由 ¥1000
28日 中劇場	高見女声コーラス 第15回演奏会 高見女声コーラス 093-582-8211 (渡邊) 14:30開演 全席自由 ¥1000
30日 中劇場	北九州メモリアル女声合唱団 第12回定期演奏会 北九州メモリアル女声合唱団 093-371-3742 (持橋) 14:30開演 全席自由 ¥1000 ※乳幼児入場不可

5 MAY

7日 中劇場	響ホールフェスティバル2012 プレ・ステージコンサート 13:00開演 全席自由 ¥500 ※未就学児入場不可 ※要事前申込み
13日 中劇場	ビティナ・ピアノステップ (株)ヤマハミュージック九州小倉店 093-531-4342 (河嶋) 11:00開演 全席自由 無料
18日 中劇場	12年間・24回リサイタルシリーズ 小山実稚恵「音の旅」2012年春 北九州公演 音風の会事務局 080-3972-3789 19:00開演 一部指定 一般¥4000、学生(中学生以下)¥3000 ※当日各¥500増 ※未就学児入場不可
20日 中劇場	PIANO三重弾! 15:00開演(14:00開場) 一部指定 指定席¥4000、自由席 一般¥3500 自由席学生(小〜大学生)¥2000 ※当日各¥500増 ※未就学児入場不可
26日 中劇場	松村未英 ピアノリサイタル 093-562-3611 15:00開演(14:00開場) 全席自由 一般¥3000、学生(小〜大学生)¥2000 ※当日各¥500増 ※未就学児入場不可 ※ワンドリンク付
27日 中劇場	カワイ音楽教室 講師コンサート Grato concert カワイ音楽教室 093-621-1013 (佐野) 14:00開演 全席自由 一般¥1500、小学生以下¥1000

6 JUNE

2日 中劇場	ソノリテコンサート ソノリテ 093-631-5325 (三藤) 13:00開演 全席自由 無料
9日 中劇場	響ホールフェスティバル2012 オイロス・アンサンブル 管楽アンサンブルの祭典 15:00開演(14:00開場) 一部指定 指定席¥3500、自由席 一般¥3000 自由席学生(小〜大学生)¥1500 セット券指定席¥6500、セット券自由席¥6500 ※当日各¥500増・セット券除く ※未就学児入場不可
10日 中劇場	響ホールフェスティバル2012 オイロス・アンサンブル オーケストラの響き 15:00開演(14:00開場) 一部指定 指定席¥3500、自由席 一般¥3000 自由席学生(小〜大学生)¥1500 セット券指定席¥6500、セット券自由席¥6500 ※当日各¥500増・セット券除く ※未就学児入場不可
16日 中劇場	第20回 定期演奏会 特定非営利活動法人 響ホール室内合奏団 090-3325-1250 (開原) 19:00開演(18:00開場) 一部指定 指定席¥3000、一般自由席¥2500 学生(小〜大学生)自由席¥1000、ペア自由席¥4000 ※当日各¥500増・ペアのみ¥1000増
17日 中劇場	ピアノ発表会 090-8299-4222 (道楽) 13:30開演(13:15開場) 全席自由 無料
20日 中劇場	宮武きみえ室内楽シリーズNo.20 “世界の名手たちを迎えて” KMFカンマームジーク 093-871-2220 (宮武) 19:00開演 全席自由 一般¥3500、学生¥2000 ※5歳未満入場不可
24日 中劇場	第5回KAITOフィルハーモニー管弦楽団演奏会 KAITOフィルハーモニー管弦楽団 090-5479-2003 (川谷) 14:00開演 全席自由 無料
30日 中劇場	コール・フェスタ Concert2012 コール・フェスタ 090-4488-9574 (岩田) 17:00開演 全席自由 一般¥1000



北九州芸術劇場 KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

〒803-0812
北九州小倉北区室町1丁目1-11 リバーウォーク北九州6F
TEL.093-562-2655 FAX.093-562-2588
http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp

【新幹線】新幹線小倉駅より西小倉駅へ2分、西小倉駅より徒歩3分
【空 港】北九州空港よりエアポートバスで小倉駅まで約40分
【J R】小倉駅より徒歩10分。西小倉駅より徒歩3分
【バ ス】室町・リバーウォーク(リバーウォーク北九州前)下車
【乗用車】北九州都市高速、小倉駅北ランプから車で5分
※専用の駐車場はございません。

リバーウォーク北九州(30分¥150) ほか周辺の駐車場をご利用ください。
尚、公演時には劇場ロビーにてリバーウォーク北九州割引駐車券を販売しています。



北九州都市立 響ホール HIBIKI HALL

〒805-0062
北九州都市立八幡東区平野1-1-1 国際村交流センター内
TEL.093-662-4010 FAX.093-662-0100
http://www.kicpac.org/hibiki/

【J R】鹿児島本線八幡駅下車、徒歩約10分
JR八幡駅から響ホールまで無料シャトルバス
(開場30分前〜開演15分前)を運行いたします。(一部対象外公演有)
【バ ス】西本町・八幡駅前下車、徒歩約8分
市立病院前下車徒歩約5分
国際村交流センター前下車徒歩約2分
【乗用車】都市高速道路、大谷ランプから車で10分
国際村交流センター(30分¥80)の駐車場などをご利用ください。

INFORMATION

お問合せ 財団音楽事業課:TEL.093-663-6661 (9:00～17:00/土日祝休) 響ホール:TEL.093-662-4010

お問合せ 北九州芸術劇場:TEL.093-562-2655 (10:00～20:00)

財団音楽事業課主催公演チケット取扱

 ひびき音楽友の会 (財団音楽事業課)	TEL.093-663-6661	9:00～17:00 土日祝休
 響ホール(管理事務室)	北九州市八幡東区平野1-1-1 国際村交流センター	9:00～17:00
 北九州芸術劇場プレイガイド	北九州市小倉北区室町1-1-1 リバーウォーク北九州5F	10:00～19:00
その他プレイガイド	*取扱のない公演も ございます	
	●チケットぴあ TEL.0570-02-9111 ●ローソンチケット TEL.0570-000-777	

北九州芸術劇場主催公演チケット取扱

 WEB 北九州芸術劇場 オンラインチケット	北九州芸術劇場 ウェブ検索 http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp/		携帯サイト  *携帯サイトは4/1(日)から ご利用いただけます
 窓口 北九州芸術劇場 プレイガイド	北九州市小倉北区室町 1-1-1-1-1 リバーウォーク北九州5F		10:00 ~ 19:00
その他プレイガイド ※取扱のない公演もございます	●チケットぴあ ☎ TEL.0570-02-9111 ●ローソンチケット ☎ TEL.0570-000-777 ●イープラス http://eplus.jp/		

ひびき音楽友の会

【お問合せ】TEL.093-663-6661
(9:00～17:00/土日祝休)

【入会金】¥500 【年会費】¥1000 【有効期限】入会年度の3月31日まで

【特典】●チケットの割引(1割引)購入ができます!

*対象コンサートのチケットを1コンサートにつき2枚まで

●チケットの先行予約購入ができます!

●コンサート情報などの無料送付!

*対象コンサートの案内をはじめ、年4回発行の
情報誌「Q」など各種情報を無料でお届けします

【会員特典対象コンサートとは】

*財団音楽事業課主催のコンサートで指定するもの

*北九州国際音楽祭の有料コンサートで指定するもの(ただし、先行予約購入の特典は適用不可)

財団音楽事業課主催 チケットの先行予約・割引購入の方法

●お電話でのご予約

- 希望公演の先行予約日を確認のうえ、財団音楽事業課へ電話をかける
- 会員番号・名前・電話番号・公演名・公演日時・席種・枚数をスタッフに伝える
- チケットの引取方法(窓口or郵送)を選ぶ
*ご予約後の変更・キャンセルはできません

窓口で

以下の窓口で代金と引き換えに引取

- 響ホール管理事務室(9:00～17:00) 国際村交流センター内
- 北九州芸術劇場プレイガイド(10:00～19:00) リバーウォーク北九州5F

郵送で

郵便局にて代金入金後、チケットを郵送

*払込手数料、郵送料はお客様負担となります

〈財団音楽事業課〉

TEL.093-663-6661 9:00～17:00
※発売初日は10:00～17:00/土日祝休

●窓口で直接ご購入

上記①②のいずれかの窓口で直接お求めください

北九州国際音楽祭の対象コンサートの購入方法等については、
同事務局(TEL.093-663-6567/9:00～17:00/土日祝休)へ直接お問合せください。

北九州芸術劇場チケットクラブ

【お問合せ】TEL.093-562-8435
(10:00～18:00)

【入会特典】

●チケットの先行予約購入ができます!

先行予約方法は電話先行とインターネット先行の2種類!

- *北九州芸術劇場が指定する主催・提携公演のみご予約できます
- *先行販売枚数には限りがあり、ご予約いただけない場合があります
- *すべて良いお席とは限りませんので予めご了承ください
- *ご予約後の変更・キャンセルはできません

●積立ポイントでチケットを割引購入できます

- *購入金額の5%相当のポイントがつきます
- *1ポイント1円とし、100ポイント単位で次回購入より使えます
- *北九州芸術劇場が指定する公演が対象となります
- *1公演につきチケット4枚分までポイントがつきます

先行予約対象公演

対象公演	先行予約日	対象公演	先行予約日
ナイロン100℃ 38th SESSION 「百年の秘密」	3/31(土)	イッセー尾形のこれからの生活 2012 in 小倉	5/19(土)
燕のいる駅	4/7(土)	月猫えほん音楽会2012	5/26(土)
スプラウト(仮称) (サラトフユースシアター/ロシア)	5/12(土)	子供のためのシェイクスピア 「リチャード三世」	6/23(土)
グイグイ (Periferia Teatro /スペイン)	5/12(土)	劇団500歳の会 旗揚げ公演 「いつか見た男達～ジェネシス～」	6/9(土)
クレープ・クレープ (ショック・トリオ/フランス)	5/12(土)		

*P.03 ハイバイ「ボンボン」お前の自意識に小刻みに振りたくなるんだ ボンボン」の
先行についてはチケットクラブまでお問合せください。

先行予約方法

一般発売前の各『先行予約日(10:00～17:00)』に電話・WEB・携帯サイトからお申し込みください
WEB・携帯サイトは初回予約・購入の際に利用登録が必要となります。利用登録は先行予約前までにお済ませください

電話予約



TEL.0570-099-990

*オペレーターのガイダンスにしたがってご予約ください

WEB予約







携帯サイト



*携帯サイトは4/1(日)からご利用いただけます

STAGE PREVIEW について

*特に表記のない場合は、[全席指定][未就学児入場不可][当日¥500 増][劇場:開場は開演の
30分前][響:開場は開演の1時間前]です。*公演日程・内容・時間・料金など変更になる場合がござ
います。*託児あり/有料・要予約(フリーダイヤル0120-400-829/TEL093-882-5063、
9:00～19:00 受付)*購入されたチケットの取替・変更・キャンセルはできませんのでご了承ください。
*車椅子でのご来場をご希望の方は事前にお問合せください。

 北九州芸術劇場 主催公演	 財団音楽事業課 主催公演
 北九州芸術劇場 提携公演	 ひびき音楽友の会 割引対象公演
 チケットクラブ ポイント対象公演	 ひびき音楽友の会 先行予約対象公演
 チケットクラブ 先行予約対象公演	

北九州芸術劇場でのグループ観劇受付中

お申込み・お問合せ

◎北九州芸術劇場 宣伝営業課 **TEL.093-562-2520**

*10名さま以上でお申し込みください。*北九州芸術劇場・主催公演が対象です。

北九州芸術劇場
公式ツイッター

http://twitter.com/kicpac

公演情報や参加者募集情報ほか、
日々さまざまな劇場情報を発信中。

STAGE PREVIEW

響ホール
REIING HALL

2012響ホールへようこそ
音楽の絵本～ズーラシアンブラスと弦うさぎ～



響ホール	9/8
【午前の部】11:00(10:30開場)	●
【午後の部】14:00(13:30開場)	●

○【午前の部】0歳から3歳向き *60分程度 【午後の部】4歳以上対象 *90分程度
●【午前の部】おとな¥3000、こども(0歳～小学生)¥1000
【午後の部】おとな¥3500、こども(4歳～小学生)¥1500

◎ひびき音楽友の会先行 6/5(火) ◎一般発売 6/14(木)

第36回
北九州少年少女合唱祭

歌の大好きな少年少女たちの合唱の祭典。北九州少年少女合唱連盟に加盟して
いる団体が一堂に会し、心を合わせて純粋な歌声と豊かなハーモニーを披露します。

黒崎ひびしんホール	7/8
13:00(12:30開場)	●

●入場無料 *全席自由 *託児なし

松村末英 ピアノ・リサイタル



◎好評発売中

スペインの画家ゴヤの絵
画に影響を受けて生まれ
た、グラナドス作曲の
「ゴイエスカス」を、ゴヤ
に関する映像と解説を交
えながらお贈りします。

響ホール	5/26
15:00	●

○出演 松村末英(ピアノ)
●一般¥3000
学生¥2000
*全席自由
*ワンドリンク付

イタリア・オペラの傑作
ブッチーニ 歌劇「トスカ」全幕公演
ウィーンの森 バーデン市劇場 【字幕スーパー付】

「歌に生き、恋に生き」や「星は光ぬ」など名アリアの数々。
ローマを舞台にした、歌姫トスカの「愛と運命」のドラマです。



北九州芸術劇場 大ホール	9/17
17:00(16:30開場)	●

○管弦楽:
モーツァルティアーデ管弦楽団
●S席¥9000、A席¥8000
B席¥7000、B席学生¥4000

◎ひびき音楽友の会先行 6/12(火) ◎一般発売 6/19(火)

The PIANO of HIBIKI HALL

ホールとピアノと人の環と。

世代を超えたトップアーティストが賞賛を惜しまない響ホールと、そのピアノ。
そして、響ホールとピアノに誇りを抱き、
なによりもアーティストと聴衆を愛してやまない「裏方」。
「人の環」から生みだされる素晴らしい空間が、響ホールにあります。

寄稿文／奥田佳道・音楽評論家 撮影／古井秀喜 RAD STUFF

あのラン・ランがリサイタル後、興奮を隠しませんでした。「このホールとピアノ、お客さんを持って帰りたい!」2006北九州国際音楽祭でのことです。モーツァルトを弾いた小曾根 真も一言「最高!」

リサイタル時15歳だった小林愛実嬢も「気持ちよく弾けました」と大喜びでした。小川映子に小曾根、若林雅、田村賢、ウィーンの名匠チャールズ・スペンサー教授の妙技、ホールと呼応した芳醇な音楽も忘れられません。

世代を超えたトップアーティストが賞賛を惜しまない響ホールと、そのピアノ。

褒め言葉は嬉しい限りですが、彼、彼女たちはただ「響ホールは素晴らしい」「いいピアノがある」と言っているのではないのです。

では何を褒めて下さっているのでしょうか。キーワードは「人」です。その前に……

平成5年(1993年)7月にオープンした座席数1720の響ホールは、その名が示すように、美しい響きを誇る国内有数のコンサートホールです。ステージの面積・空間は思いのほか広大で、リサイタルや室内アンサンブルばかりでなく、オーケストラのコンサートも開催出来ます。今をときめく指揮者ダニエル・ハーディングとドイツ・カンマーフィルが、ここでブラームスやシューマンを演奏したこともあるのです(2001北九州国際音楽祭)。

いっぽうこのホールは、アーティストの靈感を刺激してやまない、トップブランドのコンサートグランドピアノを複数台備えていることでも知られています。ピアニストは好みや演奏プログラムを勘案しつつ、楽器を選ぶことが可能なのです。

もうこれだけで素晴らしいライブの条件が整ったかのように見えますが、まだ何かが足りません。ええ「人」です。

言葉にすると少々照れくさいのですが、ここでどんなコンサートを開催したらお客様に喜んで戴けるか、どんなにお声をおかけし、どんな曲を演奏して戴こうかと企画を練るスタッフが必要ですね。響ホールのことを知り尽くし、備えているピアノを一番いい状態に保つバックステージの達人はもちろんのこと、調律・整音の専門家も近くにいないといけません。

皆さん、それが仕事と云えば仕事ですが、響ホールとこのピアノに誇りを抱き、メンテナンスに意を払い、そして何よりもアーティストと聴衆を愛してやまないコンサート制作の「裏方さん」がいなければ、ぜったいに心躍るライブは生まれません。響ホールにはそんな愛すべきプロフェッショナルがいます。選ばれたピアニストたちは、ステージに立ち、好みの楽器に触れた瞬間、人の息吹や、ここで名演奏が紡がれてきたという歴史を感じるのである。

あなたも響ホールで、変幻するピアノの音色(ねいろ)に酔いしれ、人の環に包まれてみませんか。

STAGE PREVIEW

響ホール

2012響シリーズ 第1弾
PIANO三重弾(さんじゅうびき)!



3人のトップ・ピアニストによる、ソロから三重奏まで楽しめる究極の3台ピアノ・コンサート! TVでもおなじみの人気ピアニスト高橋雅也がナビゲーターも務め、美しいトークも満載です。ラテンの名曲の数々や、生誕150年を迎えるフランス印象派の代表・ドビュッシーを大特集! 3台6手の華麗なる響奏を、ぜひ響ホールでご堪能ください。

響ホール 5/20日
15:00 ●

○出演 高橋雅也、三船優子、黒本マリ
○協賛 ピアノ・リベルタンゴ
ドビュッシー:月の光
ドビュッシー:アラベスク 第1番
ブーランジェ:組曲「ナポリ」より「イタリアン産物曲」

●指定席 ¥4000、自由席一般 ¥3500、自由席学生 ¥2000
※指定席は1等車券ブロックです。

○好評発売中

2012響シリーズ 第2弾
ニューヨーク・フィル・プラス・クインテット



アメリカやヨーロッパ全土はもとより世界中で活躍する名門ニューヨーク・フィルのトップ奏者達が5年ぶりの再来日、世界最高のプラス・セクションが放つ衝撃的なサウンドとパワーがすべての音楽ファンに強烈な感動をお届けします。

響ホール 7/7日
15:00 ●

○出演 ニューヨーク・フィル・プラス・クインテット(音楽家共済会)
●指定席 ¥3500、自由席一般 ¥3000、自由席学生 ¥1500

○Dビギ音楽家の会先行 4/10日 ○一般発売 4/17日

2012響シリーズ 第3弾
豊嶋泰嗣&上村 昇&三輪 郁
ピアノ・トリオ



3人の名手により紡ぎ出される贅沢なピアノ・トリオ。響ホールの音の素晴らしさを存分に味わう事の出来る最高のステージをお楽しみください。響ホールのみでしか聴くことのできないスペシャルプログラムです。

響ホール 7/22日
15:00 ●

○出演 豊嶋泰嗣(ヴァイオリン)、上村 昇(チェロ)、三輪 郁(ピアノ)
●指定席 ¥4000、自由席一般 ¥3500、自由席学生 ¥2000

○Dビギ音楽家の会先行 4/12日 ○一般発売 4/19日

2012響シリーズ 第4弾
響ホール室内合奏団コンサート



1998年に地元プロ演奏者によって設立された響ホール室内合奏団。世界的チェンバリスト、中野新一郎との4度目の共演です!! その抜群の相性で、このCDを作成することになりました。収録曲の演奏も兼ねての公演。パロクシリーズの集大成です。

響ホール 9/30日
15:00 ●

○出演 中野新一郎(独奏・チェンバロ)
響ホール室内合奏団
●指定席 ¥3000、自由席一般 ¥2500、自由席学生 ¥1000

○Dビギ音楽家の会先行 6/8日 ○一般発売 6/15日

響ホールフェスティバル2012

オイロス・アンサンブル
インタビュー2012
HIBIKI HALL
Festival

〔裏面から続く〕

しかも、それぞれ一人は次の曲でも吹くように順番を考えてあります。ステージには必ず一人が残って次のふたりをお迎えするので、見ていても飽きないですよ(笑)」

その最後には〈スペシャル・デュオ〉としてチェロとコントラバスの二重奏も。コントラバスの吉田秀さんいわく「僕とチェロの藤森亮一君は高校の同級生で、このロッシーニの〈デュエット〉は15歳の時からずーっと一緒に弾いてるんですよ。この曲はもうリハーサル要らないです(笑)」

オイロスお得意のオペラ編曲もの、ビゼー《カルメン》に続いて、初日のメインとなるのはドヴォルザークの〈セレナードニ短調〉。管楽アンサンブルと低弦というこの編成のために作曲された歌と響きの美しい逸品、まさにオイロスの真髄を味わえる選曲を聴きのがしてはならない。

「僕は離れている時も〈オイロスの魂〉をずっと持っています」とオーボエの広田智之さん。「それは〈音楽に対する積極性〉というかな、音楽の持つカラーや情景の変化を、まず自分たちがステージの上で愉しんで演奏すること。そのためにメンバーの皆が努力を惜しまない。お互いを磨かせてもらえるところなんです」

Tomoyuki
Hirota広田 智之
オーボエShu
Yoshida吉田 秀
コントラバスYumiko
Sakuma佐久間由美子
フルート／
響ホールフェスティバル
2012プロデューサー

集まることが喜びであり、磨きあい、共にステージを存分に愉しむアンサンブル。フェスティバル2日目は〈オーケストラの響き〉と題して、これまたオイロスならではの演目が並ぶ。メインはブラームスの〈セレナード第1番ニ長調〉より。

「実は前回から、次はこの曲を演ろう！と考えていました」と佐久間さん。「特に第3楽章など『これで泣かないでどうする！』という本当に素晴らしい音楽で、聴くだけでオイロスの各メンバーのソロが目に見えよう……ぜひ！と高橋さんに編曲をお願いしました」

ブラームス青年期に書かれたこの曲、のびやかな歌心に豊かな色彩の喜びが満ち溢れた、ほんとうに幸せな傑作だ。この選曲には、佐久間さんのオイロスへの、そしてフェスティバルへの思いが詰まってもいる。数々の編曲を手がけてきたクラリネット奏者・主宰の高橋智己さんも「原曲には管楽器と弦楽器の対比がたくさんあります。それをオイロスの編成でどう表現するかが聴きどころです

Euro Ensemble
InterviewTomomi
Takahashi高橋 智己
クラリネット

ね」とアレンジの愉しみを語る。

広田 「高橋さんのアレンジがまたどの曲もとても難しくて(笑)。渡された譜面を見るといつも最初は『ええっ！』ってなんですけど、馴れてくると『これじゃないと……』という中毒的なところが(笑)」

その編曲の妙、2日目では他にも凄いところを。シューベルトの交響曲第7番《未完成》より、などあれこれ楽しみな中でも、ドヴォルザーク〈チェロ協奏曲〉からの編曲とは驚きだ。もちろんメンバーの藤森亮一さんの独奏で。

高橋 「管楽アンサンブルだどうしても藤森さんのソロが少なくなっちゃうので、ぜひ」

吉田 「藤森君を遊ばせないように(笑)。今回のフェスティバルも楽しみです。響ホールはいつも行くたびに、とてもほっとするところだなあと思うんです。舞台に出る前の楽屋まわりの雰囲気もとてもよくて、これは音楽家にとって大事」

演奏の愉しみも自然に白熱するホールとあって、メンバー全員もここでの演奏をとて楽しんでにしている。それぞれ多忙を極めるメンバーがスケジュールを合わせて揃うのも実は非常に大変な

のだが、このアンサンブルのためなら！と全員が何年も前から日程を空けて集結してくれるのだ。

広田 「練習の時から凄く楽しいやりとりがあって、『こう演ってみようよ』という提案に『じゃあこうしたら？』という反対の提案が出ると、普通なら多数決のように決まるところも、オイロスは必ず少数意見も試してみて、意外にそれが採用されたりもする」

佐久間 「難しいほうを敢えて選ぶこともありますよね」

高橋 「オイロスを結成するとき、演奏において『できないからやめよう』と言うのはやめよう、と決めたんです」

広田 「思ったとしても言えない(笑)。でもこの掟が、とても良い習慣として定着しましたよね！」

〈決して妥協なく、心底楽しむ〉姿勢が、オイロス・アンサンブルの音楽を本当に幸せなものにしてくれる。その真骨頂、2日間たっぷりお楽しみいただきたい。

STAGE PREVIEW

響ホール
HIBIKI HALL

響ホールフェスティバル2012 佐久間由美子プロデュース

日本を代表するフルーティスト
佐久間由美子プロデュースにより3年ぶりに
オイロス・アンサンブルが響ホールへ大集結!!
各楽器の音色を聴き比べたり、
壮大な管楽アンサンブルの響きを
体感してもらう事が今回のテーマです!!
両日とも同じ出演者が演奏しますが、
内容も編成も音色も違う2公演となっています。
日本を代表する名手たちが奏でる
贅沢な2日間を心ゆくまでお楽しみ下さい。

※ サロン・コンサート

西日本工業倶楽部	6/6
14:00	●

○出演 佐久間由美子(フルート)
原田佳菜子(フルート)、石橋尚子(ピアノ)
●¥4000 *全席自由 *ケーキセット付



佐久間由美子



広田智之



吉田秀



高橋智己



藤森亮一



石橋尚子



石橋尚子



石橋尚子



石橋尚子



石橋尚子



石橋尚子



石橋尚子



石橋尚子



石橋尚子

※ オイロス・アンサンブル 管楽アンサンブルの祭典

フルート、クラリネット、オーボエ、ファゴット、ホルン、チェロ、コントラバス!!
1日目は各楽器が持つ魅力をそれぞれ十二分に味わえる内容です。
7組のトリオ全ての編成が変わる『トリオの響宴』や
弦楽器奏者2名の『スペシャル・デュオ』など次々と編成が変わる中での
各楽器の音色や作曲家の違いを聞き比べてみてください。

響ホール	6/9
15:00	●

○モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」序曲
＜トリオの響宴＞ ベートーヴェン：トリオ ハ長調 作品87より
モーツァルト：ディヴェルティメント 作品229より
＜スペシャル・デュオ＞ ロッシーニ：デュエット ニ長調より
ビゼー（高橋智己編曲）：歌劇「カルメン」より
ドヴォルザーク：セレナード

※ オイロス・アンサンブル オーケストラの響き

選り抜かれたクラシックの名曲をオイロス・アンサンブル主宰である高橋智己が
オイロス版に新たに編曲しました。これぞオイロスの醍醐味!!
2日目は管楽アンサンブルのイメージを覆す壮大な響きを体感してください。

響ホール	6/10
15:00	●

○モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」序曲
ドニゼッティ：シンフォニアト短調
シューベルト（高橋智己編曲）：交響曲 第7番「未完成」より
ドヴォルザーク（高橋智己編曲）：チェロ協奏曲 口短調 op.104より
シューベルト（高橋智己編曲）：劇付随音楽「ロザムンデ」D.797より
ブラームス（高橋智己編曲）：セレナード 第1番 ニ長調 op.11より

●指定席¥3500、自由席一般¥3000、自由席学生¥1500 *両日共に指定席は1階中央ブロックです。
●[6/9・10 セット券(前売のみ)] 指定席¥6500、自由席¥5500

◎好評発売中

人まち結ぶ、 響ホールの情報誌「Q」

◎発行：(財)北九州市芸術文化振興財団
◎響ホール
北九州市八幡東区平野 1-1-1 国際村交流センター内
TEL.093-662-4010 FAX.093-662-0100
<http://www.kicpac.org/hibiki>

Q vol. 36 SPRING 2012 2012 HIBIKI HALL Festival



響ホールフェスティバル2012 オイロス・アンサンブル インタビュー

凄腕メンバーたちが存分に磨き、楽しむ！

管楽に弦を加えたアンサンブルの豊かで幸せな響き、その真骨頂と多彩を満喫する2日間

取材・文＝山野雄大

親 密な美しい空間に、あたたかく極上のサウンドを……。響ホールにあの凄腕たちが帰ってくる！今年の〈響ホールフェスティバル2012〉は日本を代表する名フルーティスト・佐久間由美子のプロデュース、彼女と素晴らしい仲間たちが集まる〈オイロス・アンサンブル〉3年ぶりの登場だ。管楽器の豊かな響きに低音の弦楽器も加わって、身体にとける音色の深い味わいが生まれる。たっぷりと心地良い音楽を届けてくれるメンバーたちにお話をうかがおう。

今回も、凄い。呼吸あわせて豊かなサウンドを響かせる管楽アンサンブル、その喜びを満喫できるゴージャスな時間……。これは全国から駆けつける価値あるコンサートといっても全然大げさではない。なにしろオイロス・アンサンブルのメンバーには、名ソリストとして、はたまた日本トップクラスのオーケストラで首席奏者をつとめる凄腕たちがずらりと揃っている。結成以来絶賛を浴び続ける屈指の名アンサンブルだ。

「前回ここで演奏させていただいた時も本当に愉しかったですね！」と、今年のフェスティバルをプロデュースするフルート奏者・佐久間

由美子さん。「今回は6年間続いてきた〈響ホールフェスティバル〉も最後となります。集大成として、私たちオイロス・アンサンブルのすべてを出し尽くそう！と考へて、もう凄いプログラムをご用意できました！」と柔らかい表情に自信があかるく溢れる。

確かに、贅沢三昧の2日間だ。両日ともオイロスお得意のモーツァルト《フィガロの結婚》序曲で颯爽と妙技に風薫らせたあと、味わいの異なるプログラムがたっぷり用意されているので、両日ともに満喫を。

まず初日は〈管楽アンサンブルの祭典〉。《フィガロ》に続いては、凄腕メンバーたちの

共演を堪能できる木管三重奏曲のあれこれ……。しかも7曲全部で楽器編成が異なる（！）〈トリオの饗宴〉をお楽しみいただく。

「オイロスにはいろんな楽器も人数も揃っていますから、多彩な編成にこだわってみました。私も聴いたことがないような編成の曲ばかり」と佐久間さんも笑う。日本のトップ奏者が3人揃う贅沢なオーボエ三重奏からはじまって、トリオ7作品のひとつとして同じ編成の曲がないのが面白い。

佐久間 「メンバーに『各楽器の特徴が出る曲を教えてください！』とお願いして出してもらった曲。

〔11p.へ続く〕